

## できの悪い長男で すみません

副幹事長

三浦直樹

Miura Naoki (48期)



最初に懺悔すべきことがあります。

弁護士登録して20数年、会派活動には、殆ど携わったことがありません。そもそも友新会執行部とは何かも知りませんでした。にもかかわらず、諸般の事情から、筆頭副幹事長という何やら大変そうな役目を仰せつかってしまいました。

右も左も分からない新参者ゆえ、関係各位には、諸々ご迷惑をお掛けすること必定です。この点、予め、深くお詫び申し上げますとともに、願わくはご海容賜らんことを切にお願い申し上げます。

実際、引継ぎの打ち合わせ等を通じ、身の程知らずの安請け合いであったことを日々痛感しています。本来、幹事長の右腕となり、副幹事長の範たるべき筆頭が、各委員会の活動内容すら知らず、「新人担当副委員長って何ですか？」というレベルの質問を連発するさまに、執行部の皆さんは、きっと驚き呆れておられることでしょう。できの悪い長男で、ホント、すみません。

しかし、会務に精通されておられる岩佐幹事長はもちろんのこと、しっかりした弟妹達がきちんとサポートしてくれていますので、心配ありません。

また、厚かましい言い方ですが、何も知らないからこそ、良くも悪くも慣例・因習から自由である、という開き直った見方もできるかもしれません。ちなみに、今年度は、いわゆるキャッチフレーズを定めず、シンボルマークも昨年のデザインを流用踏襲していますが、そこには、「シュリンクする現代社会における持続可能な会務のあり方」を模索しつつ熟慮されたメタ・メッセージが込められています。決して、「決めるのが面倒だったから」では断じてありませんので、くれぐれも誤解される向きのなきよう、申し添えます。

…という次第で、新人を友とする親睦団体という基本に立ち返って、気負わず、自由な発想で、精一杯の微力を尽くす所存ですので、1年間、どうぞよろしくお願いいたします。